

第三者検証報告書（審査・検証認定書）

2025年9月10日

東京電力リニューアブルパワー株式会社 御中

株式会社BiSUS

東京都千代田区平河町 2-7-5

代表取締役

齊藤

悠



1. 検証の範囲及び目的

株式会社 BiSUS（以下「当社」という）は、東京電力リニューアブルパワー株式会社（以下「事業者」という）からの委嘱に基づき、株式会社森林再生システム（以下「森林認証機関」という）が作成した「東京電力リニューアブルパワー株式会社森林吸収源・生物多様性等調査報告書」（以下「調査報告書」という）の「生物多様性、森林の管理・経営、森林吸収源の評価証明書」（以下「証明書」とする）に記載された算定評価結果に対して限定的保証業務を実施した。

審査・検証の目的は、証明書に記載された算定評価結果が、一般社団法人フォレストストック協会が定める「森づくりにおける森林吸収源・生物多様性等評価基準（令和6年2月1日）（以下「評価基準」という）に従い作成されているかについて、当社が独立した立場から結論を表明することにある。

なお、評価基準に従い調査報告書及び証明書を作成する責任は森林認証機関にあり、調査報告書を作成するための基礎となる測定データは、本審査・検証の対象ではない。

2. 検証手続き

当社は、評価基準及びフォレストストック認定制度規定集（令和4年10月1日）に準拠し、以下の検証手続きを実施した。

- 調査報告書の「2 生物多様性の評価」における「生物多様性・水土保全面の定性評価指標による評価採点」及び「生物多様性主要定量指標による評価採点」と「生物多様性主要定量指標による評価結果」についての検算及び根拠資料等の閲覧、分析的手続き
- 調査報告書の「3 森林の管理・経営の評価」における「森林の管理・経営の定性評価指標（経済面）による評価採点」及び「森林の管理・経営の定性評価指標（社会貢献面）による評価採点」、「森林の管理・経営の林況主要定量指標による評価採点」、「森林の管理・経営の定性評価指標・定量指標による評価結果」についての検算及び根拠資料等の閲覧、分析の手続き
- 調査報告書の「4 森林吸収源（CO₂吸収量）の算定」における「カラマツ人工林 齢級別幹材積、幹材積成長量及び年間森林吸収量」及び「天然林 齢級別幹材積、幹材積成長量及び年間森林吸収量」についての検算及び根拠資料等の閲覧、分析の手続き

3. 検証の結論

上述の検証手続きを実施した限りにおいて、証明書に記載された「1.生物多様性の評価」の得点、「2.森林管理経営の評価」の得点、「3.森林吸収源の算定」の年間炭素吸収総量、年間CO₂吸収総量、実年間CO₂吸収量が、すべての重要な点において、評価基準に従って作成され、表示されていないと認められる事項は発見されなかった。

4. 当社の独立性と品質管理

当社は、ISO14065 及び関連文書に示されたマネジメントシステムを導入し維持している。これにより、当社は ISO14065 及び関連文書に示された独立性を満たしている。

以 上